

令和８年度第１回ソフピアジャパンセンター等 指定管理評価員会議 結果概要

○日時：令和８年７月２８日（火） １５時００分～１６時３０分

○会場：ソフピアジャパンセンタービル 11 階 中会議室 3

１ 評価の手順について

- ・県から評価手順について説明

２ 令和７年度の指定管理業務の評価について

○評価方法

- ・指定管理者からの報告を受け、評価シートの項目に基づき評価員が採点。
- ・事務局にて集計し、平均点を算出。

○評価結果

評価項目	平均点	
	情報産業施設部分	県営住宅部分
管理基準の充足状況	4.25	4.25
設置目的の達成状況	3.75	4.25
公共性の確保の状況	4.50	4.25
経営状況	4.50	4.00
派生的効果	3.50	4.00

○主な質疑応答・意見

【質疑応答】

※情報産業施設

＜ 評 価 員 ＞ 駐車場の問題は毎回話題となっているが、抜本的な解決策についてどのように考えているか。

＜指定管理者＞ 駐車場用地の確保は容易ではなく、立体駐車場整備についても投資回収に長期間を要する。指定管理者だけでの対応は難しく、長期的な視点での対応が必要と考えている。

＜ 評 価 員 ＞ ソピアカabinは利用日数が増加している一方で利用料金収入が目標に達していないが、その要因は何か。

＜指定管理者＞ 利用人数の見込みを高めに設定したことが要因である。また、利用団体ごとに利用人数が大きく異なるため、利用日数と利用料金収入は必ずし

も比例しない。

＜ 評 価 員 ＞入居企業訪問件数や情報提供件数など、一部実績が減少している項目があるがその理由は何か。

＜指定管理者＞企業ニーズの変化により訪問を希望しない企業が増えていることや、紙媒体による情報提供需要が減少していることが要因である。また、相談支援の手法見直しなども実績値に影響している。

※県営住宅

＜ 評 価 員 ＞近年、民間賃貸住宅の賃料は上昇傾向にあるが、ソピア・フラッツの状況はどうか。

＜指定管理者＞周辺の民間物件と比較して比較的安価な賃料設定としており、近年は値上げも実施していないため好評をいただいている。

【意見】

※情報産業施設

- ・ 企業同士の交流やビジネスマッチングによる事業機会の創出がソフトピアジャパンの大きな強みである。施設集積のメリットや企業間連携による付加価値を積極的に発信し、施設の魅力向上につなげられたい。
- ・ 建物の老朽化が進む中、空調設備等の大規模改修工事を計画的に進められたい。
- ・ 駐車場は引き続き施設運営上の課題であり、利用実態の把握や案内改善、空き状況の見える化等について検討されたい。
- ・ 30周年を契機として施設の強みや将来像を改めて整理し、更なる施設活性化に取り組まれたい。

※県営住宅

- ・ ソピア・フラッツは高い入居率を維持しており、周辺民間物件と比較しても魅力的な賃料設定となっていることは評価できる。今後も入居率の維持・向上に努められたい。